

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社アシックス（証券コード：7936）

【据置】

| | |
|---------|-----|
| 長期発行体格付 | A+ |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | A+ |

■格付事由

- シリアスランナー向けランニングシューズを主力とするスポーツ用品メーカー。スポーツ工学研究所を設置し、独自の研究に基づく開発体制を整備しており、製品の品質や機能には定評がある。グローバルな販売基盤を構築しており、ランニングシューズやテニスシューズで高い世界シェアを有する。当社は持株会社機能を有しているが、グループの一体性が強い点を踏まえ、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 堅調な販売を背景に、業績は回復を続けている。ランニングシューズのラインナップの拡充や適正価格での販売を進めており、売上総利益率を維持しながら売り上げを伸ばしている。世界的な消費マインドの悪化に留意は必要だが、健康志向の強まりやランニング人口の増加が販売を下支えしよう。財務面では一定の耐久力を維持している。財務構成は20/12期末を底に改善に転じており、今後も利益の資本蓄積などに従い改善基調で推移する公算が大きいと考えられる。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 22/12期の会社予想の売上高は4,800億円（前期比18.8%増）、営業利益は340億円（同54.9%増）といずれも過去最高を更新する見通しである。生産委託先工場の一部の稼働停止といった前期のマイナス要素が縮小するとともに、各地域での販売増が寄与する。製品カテゴリーを基軸とする経営管理体制の下で取り組んできた商品力の強化や採算管理などの施策が奏功し、収益力の低下局面を脱したものと考えられる。ランニングシューズのシェアアップなどを通じ、利益の水準や安定度を高めていけるかが注目点である。
- 22年9月末時点の自己資本比率は44.2%、ネットDERは0.2倍であり、財務体質は健全である。生産は外部委託を主としており、設備投資負担は比較的軽い。近年はデジタル戦略の核となる「ランニングエコシステム」の構築に向け、国内外のレース登録サイト運営企業のグループ化などの投資に積極的だが、財務面への影響は限定的である。

（担当）窪田 幹也・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：株式会社アシックス

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|----|-----|
| 長期発行体格付 | A+ | 安定的 |

| 対象 | 発行額 | 発行日 | 償還期日 | 利率 | 格付 |
|---|-------|------------|------------|--------|----|
| 第3回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付） | 150億円 | 2020年7月9日 | 2023年7月7日 | 0.040% | A+ |
| 第4回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付） | 250億円 | 2020年7月9日 | 2025年7月9日 | 0.220% | A+ |
| 第5回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド） | 100億円 | 2021年12月2日 | 2026年12月2日 | 0.100% | A+ |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年11月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社アシックス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル